御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

ミナミ御堂筋ビジョン2022

ミナミ御堂筋ビジョン2022の策定にあたって

大阪のメインストリート、御堂筋。世界に誇るメインストリートとなるためには、いかにあるべきか。その実現に向けて、どんな行動をすべきか。

ミナミ御堂筋沿道の不動産オーナーによる団体、「ミナミ御堂筋の会」は、2015年7月の設立以後、御堂筋のあり方の議論を重ねてきました。「ミナミ御堂筋ビジョン」は、その成果をもとに方向性を共有するもので、「ミナミ御堂筋ビジョン2018」を経て、このたび、「ミナミ御堂筋ビジョン2022」を取りまとめました。

このビジョンは、私たちが思い描くミナミ御堂筋の基本的な方向性を示すものであり、今後、関係者ともさらに議論を深めながら、より深化させていくものとします。あわせて、我々が取り組むべきアクションについても提示しており、可能なところから具体化に向けて行動に移していきます。

大阪・関西万博の開催を見据えた2025年をターゲットイヤーとし、今後の社会経済情勢の変化と共に、随時、見直しを進めていくものとします。

2022年　1月

ごあいさつ

一般社団法人　ミナミ御堂筋の会　代表理事

髙橋　勝彦

当会は、ミナミ御堂筋沿道の地権者団体として設立後、道路空間再編事業やイルミネーション事業などに参画、官民連携で取り組んで参りました。道路協力団体の指定、一般社団法人への移行と、エリアマネジメント団体として着実に歩みを進めております。

2025年には大阪・関西万博が開催、御堂筋が世界中からも注目される千載一遇のチャンスです。そこで次代を担うメンバーの議論をもとに、万博をターゲットイヤーとしたビジョンへと改定致しました。

コロナ禍でミナミは苦境に立たされていますが、御堂筋の動きが復活への原動力となれるよう、ビジョンに基づき会員一丸となって行動します。どうぞご期待ください。

一般社団法人　ミナミ御堂筋の会　顧問

嘉名　光市（大阪市立大学大学院　教授）

私たちはまちのあり方を問い直す重大な局面にいます。いま、コロナ禍の経験から、都心の繁華街のあり方が改めて問われています。また、様々な課題や困難に立ち向かえるまちのレジリエンスをどのように備えるか、そのためにエリアマネジメントの重要性が浮き彫りになったと痛感します。そのようななか、御堂筋の空間再編やなんば広場改造計画はいよいよ実現へのカウントダウンが進んでいます。2025年には大阪・関西万博も開催されます。ミナミがより魅力的になり、回遊性が向上し、困難に立ち向かう回復力を備えたまちへと発展していくことが求められます。このような状況のもと、ミナミの将来を見据えた羅針盤となるミナミ御堂筋ビジョンが改訂されました。ビジョンの実現に向けて、みなさんと一緒に様々な取り組みを進めていきたいと思います。

大きな変化にある、ミナミ御堂筋。

大阪のメインストリート、御堂筋。そして、2019年までのインバウンド効果により世界的観光地として認知されたミナミ。COVID-19による世界的な都市活動停滞下において、新たなる都市像を描くべく、このエリアは、大きくその姿を変えようとしています。

関西国際空港から直結するアジアのゲートウェイ、なんば駅周辺は、なにわ筋線の整備により、新幹線駅である新大阪からの時間距離が短縮され、さらに交通結節性を高めます。

不動産需要や地価は現在も高い推移を維持しています。また、新今宮といった隣接地域も含め、数々の大型開発が展開され、エリアのポテンシャルは一層高まりを見せています。

さらには、「御堂筋の歩行者空間化」「なんば駅前広場の整備」といった官民連携による都市空間再編が強力に推進されている中、このポテンシャルや充実したハード資源を活かす地域のマネジメントが求められているといえます。

【御堂筋の過去・現在、そして未来】

関一の都市大改造計画

・「道こそ街の動脈」、御堂筋は都市格を体現し、沿道には優れた建築物が建設、美しい景観を創造し、大阪のレガシーに

写真：完成当時の御堂筋
大阪市ホームページより▶

高度経済の変容を経て転換期に

・都心部の土地利用も道路空間も経済活動で占められ御堂筋もアメニティを失う

・中之島の景観保存、水都大阪の再生、御堂筋の道路空間再編と沿道の土地利用転換が進み、力強い民の動きが勃興

【世界の潮流】

世界の各都市で歩行者空間化の空間再編が具体化

・ニューヨーク市“Sustainable Streets Strategic Plan”を策定、タイムズスクエアを歩行者空間化社会実験実施、恒久化へ

歩行者のための空間形成がグローバル都市の戦略

・「パリは歩行者に対する包括的な戦略、ウォーキング国際国連憲章に署名する。」

～～パリ市の歩行者グローバル戦略より

【ミナミ御堂筋での議論】

メインストリートが都市戦略上の核

・「メインストリートをいかに都市の中核に据えていくかが非常に重要な課題。」

・「普通は一見無理だと思えるようなことを実現するのが海外のメインストリート、御堂筋もそこを譲ってはならない。」

～～嘉名光市氏講演「大阪のまちづくりをリードするミナミ御堂筋の展望」より

真に人間のためのメインストリートが、世界の中で生き残る

・「人間が自分でまちをつくっているという意識を持つまちが競争力があって、人がたくさん集まり、世界の中で生き残る。」

～～隈研吾氏講演「世界のメインストリートと建築」より

ミナミ御堂筋を取り巻くこれからの大きな変化

・御堂筋整備拡大（北伸化）
・なんば駅前広場化
・三津寺建替え
・大阪・関西万博2025
・なにわ筋線整備

80周年事業を契機とする御堂筋の動き

・御堂筋のデザイン指針、将来ビジョンの検討
・整備・マネジメントに向けた段階的な社会実験の展開
・公民による協議の場の設置（御堂筋協議会）

ミナミ御堂筋の会の着実な取り組み実績

・御堂筋整備のコーディネート
・御堂筋イルミ他プロモーションへの参画、協賛実施
・大阪市と連携による道路空間の在り方検討（社会実験の実施等）
・放置自転車対策の取組展開
・大阪市道路協力団体への指定

今こそ、将来のミナミ御堂筋のすがたを、発信し、行動する時。

ミナミ御堂筋がめざすメインストリート像

ミナミのカルチャーを創造し、世界に発信するストリート

ミナミ御堂筋は、ミナミのまちで、これまで培われてきた厚みのある文化や、伝統的な芸能、日々 創造されるクリエイティブなアート・デザインをはじめとする“ストリート・カルチャー”を、景観や沿道のまちなみ、さらには街路空間を通じて、世界に発信します。

ニース

香港

パリ　シャンゼリゼ

御堂筋ビジョン2022

「会のミッション」を基本に、ミナミエリアの「地域特性」、御堂筋沿道における「近年のトピック」、「社会的な動向」を踏まえ、ミナミ御堂筋がめざすメインストリート像の実現に向けたビジョンを取りまとめました。

街路空間の創造的活用 → エリアバリューの向上 ← 魅力コンテンツの創造・発信

道路の再整備や景観形成に加えて、道路空間や沿道敷地の活用によって、新たなビジネスや魅力を創出し、ウォーカブルな道路空間を創ります。
これらの空間をマネタイズのリソースとしても捉え、官民連携のもと、継続した環境改善・価値向上が可能なマネジメントを展開します。

新たなプレーヤーを発掘し、魅力コンテンツを創出することで、様々な分野のカルチャーシーンの先端を行くストリートとするとともに、エリアの回遊性を高めます。
また、沿道を含むエリアのスマート化を進めることで、コンテンツの積極的な発信、及び必要な分析を行うエリアマーケティングを展開します。

1 アップデートされた道路空間の活用

2 魅力的な沿道建築物の活用

3 文化的・先取的コンテンツの創出

4 総合的エリア・ブランディング

街路環境の改善・高質化への還元

エリアへの来街動機の多面化

【ミナミエリアの地域特性】

関西最大の繁華街・観光地

・2018年トリップアドバイザーで人気のアクティビティ・観光地第1位にも選ばれた道頓堀をはじめ、多様性の高い繁華街・観光エリアが広がる

高い文化性・エンターテイメント性

・古来より芸能のまちとして栄えたミナミ
・現代においても、伝統的文化芸能から、若者・ファッション文化まで幅広いカルチャーが集積・発信される

【近年のトピック】

アートシーンの集積

・近年になり、エスパス・ルイヴィトン大阪、ロイヤルクラシック大阪、パルコなどの最先端のアートシーンが形成

新コンテンツの創出

・アメリカ村を関西のe-sportsのメッカとすべく、関連企業が情報共有・事業企画を行う「e-sports研究会」が発足

【社会的な動向】

様々な分野におけるDXの進展

・生活・事業環境の進化したIT技術との親和を進めていくデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組が全国的に展開される

With コロナ時代の到来

・COVID-19の世界的な蔓延は、大きく我々の生活を変えた
・こと、インバウンド効果による大規模な集客を得ていたミナミにおいては、その影響は大きく、観光やビジネス、購買行動といった今後の都市活動のあり方の模索が求められる

パリ　シャンゼリゼ

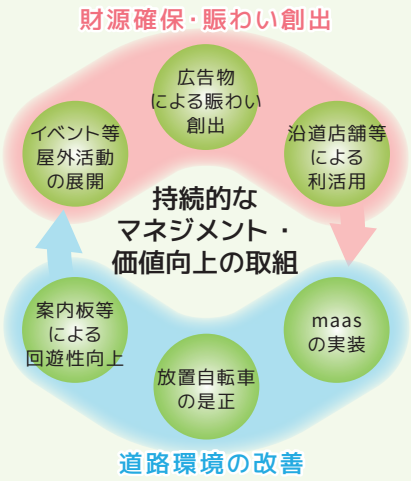
1 アップデートされた道路空間の活用

パリ、ニューヨークなど、世界中の都市が、歩行者主体の空間形成で都市間競争を繰り広げる時代。車で埋め尽くされていた道路を人の手に取り戻す大胆な空間再編によって、人中心に生まれ変わった街は賑わいと楽しみを絶えず生み出しています。

さらに、徒歩行動の誘発は、人間の感覚や健康に刺激を与えるとともに、地域の環境改善、沿道や周辺商業地への経済効果も創出、沿道価値向上にも寄与します。

世界を先導する都市は、空間をつくる段階を終え、いかに歩く楽しみ・魅力・文化を官民で創出していくか、を戦略的に展開する段階に入っています。それに比して、大阪、関西の歩行者空間形成は、まだ始まったばかりです。

ミナミ全体をウォーカブルなまちに変えていくため、御堂筋はその背骨として先導的に、道路空間の活用や環境改善といったマネジメントに取り組みます。



■道路空間を活用した賑わい形成
■広告事業等による活動財源の確保
■放置自転車等の道路環境改善や地域課題の解決に向けた取組の展開

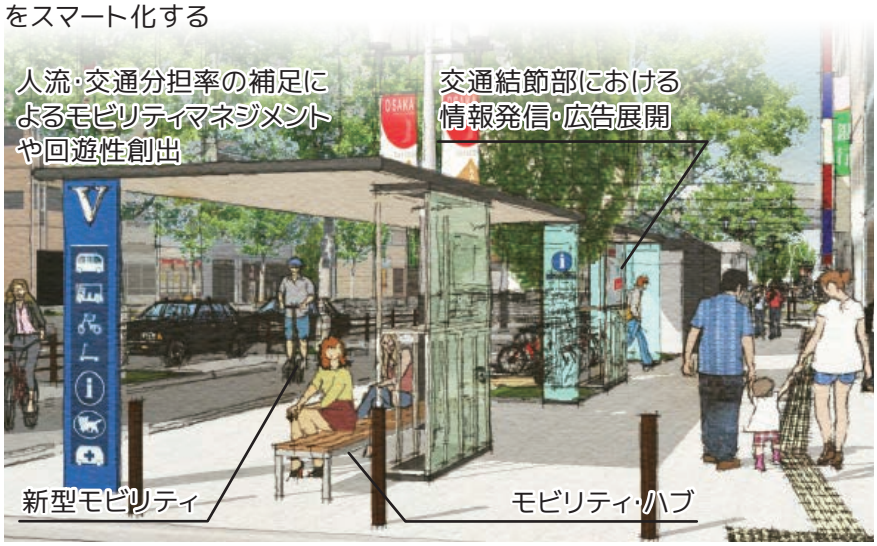
御堂筋チャレンジを通して描く道路空間像

周辺の界隈やカルチャーが表出するエキシビション空間

ミナミの界隈で生まれる新たなビジネスのポップアップや商店街と連動したイベント、新旧のカルチャーなどエリアコンテンツが体験できる

スマートシティ化によるストリートのアップデート
― スマートストリート ―

ICT技術と親和する新たなモビリティサービスの展開や、エリア情報の発信、ビッグデータを用いたインサイト型広告の展開などによりストリートをスマート化する



建築物のグランドレベルと一体となったウォーカブルな街路空間

より街路に開いた沿道建築物の1階部分の活用と合わせ、オープンカフェなどを展開することで滞在快適性の高い街路空間を形成

現在、御堂筋では、2019年3月に大阪市によって策定された「御堂筋ビジョン」に基づき、道路空間の再編が進められている

当会においては、大阪市との連携のもと、社会実験「御堂筋チャレンジ」を通し、道路空間の活用のあり方について議論してきたところである

また、国においても道路空間の活用に対する需要の高まりから、「道路協力団体」「歩行者利便増進道路」が制度化された
御堂筋では、一早く本制度を取り入れることで、ウォーカブルな道路空間構築に向けた体制を整えつつある

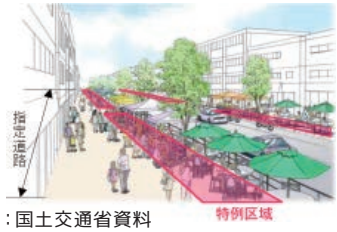
Reference

道路協力団体制度

公民連携による道路管理の一層の充実と民間主体によるまちづくり活動を促進していくことを目的に、創設された制度で、道路上での収益活動が可能となり、得られた収益は道路管理に還元することができる。
※2020年10月、当会も指定を受けています。

歩行者利便増進道路制度

歩道内の滞留空間を「歩行者の利便増進を図る空間」として定めることができる制度であり、道路上において、新たなにぎわい創出を図ることができる。



図：国土交通省資料

御堂筋チャレンジ（2017）
- 自転車通行空間と歩行者空間の適正配分、分離方法
- 滞在装置（ファニチャー）の設置
- オープンカフェ・マーケットの運営
- 案内版による案内と広告収入の確保　等

御堂筋チャレンジ（2020）
- 歩行者利便増進道路制度の試行
- 周辺商店街との連携検証
- 滞在性向上施設（ベンチ）の検証　等

御堂筋チャレンジ（2021）
- モビリティ・ハブの試行
- アイランド利用（オープンカフェ）実施
- 滞在性向上施設（ベンチ）の検証　等

シンガポール　オーチャードロード

2 魅力的な沿道建築物の活用

ミナミの御堂筋に、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ、村野藤吾などの建築家が残した建築物は、エリアの核として存在感を放ち続けてきました。その魂は、日本を代表する建築家等により、時を超えて現在に残るレガシーとして、後世に受け継がれようとしています。

ミナミ御堂筋に息づくレガシーをエリアの核として継承しつつ、時代にあわせた投資を誘発しながら新しい革新的な建築物を創造し、重層した歴史の上にメインストリートを価値づける高質な街並みを創造します。

また、これからは、魅力的な建築を街並みとして誇るだけでなく、エリアマネジメントのリソースとして捉え、時代やニーズに応じたコンテンツを埋め込み、アクティブに活用していくことで、人の息遣いが感じられる“生きた街並み”を創り出していきます。

これにより、道路と建築物が織りなす「街路」全体と、個々の建築物の価値の相互的な向上を期待します。

伝統の継承 × 革新的創造

↓

レガシーの形成

↓

活用のステップへ

- ■歴史的建築物が継承され、世界的な建築家が競作するアイコニックな街並の形成
- ■魅力的な沿道アセットの活用・発信
- ■活用可能なコモンスペースを敷地内に創出することができるボーナス制度

ミナミ御堂筋を彩る沿道建築

ミナミ御堂筋を彩る 特徴的な建築たち

沿道東側を中心に特徴的な
ファサードの建築物が点在する

また、ハイブランドなテナントが
軒を連ねるエリアも見られ、
最先端の技術や高感度のデザイン
による街並みが形成されている

近年は著名な建築家による作品の
アップデートが見られ、
景観を継承しつつ、
機能の更新が進む

ルイ・ヴィトン

七宝山大福院 三津寺

はり重

ホテルロイヤルクラシック大阪
（旧新歌舞伎座）

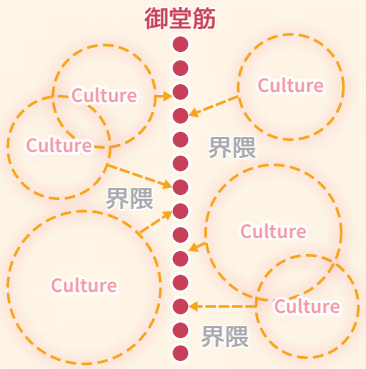
香港　アートストリート

3 文化的・先取的コンテンツの創出

世界では、ニューヨークの刺激的な小劇場（オフ・ブロードウェイ）、シャンゼリゼ裏路地のビストロ等、界隈がサブカルチャーや時代にチャレンジする新しい店舗を生み出しています。メインストリートの魅力は、それ単独では成立せず、界隈とそこで涵養される文化がミックスされ、相乗効果を発揮することで生み出されており、また、メインストリートと界隈をつなぐ回遊により、都市の魅力により深みを増し、印象的な体験を生み出します。

ミナミには、近世より息づく芸能の文化や、水都大阪を象徴する水辺のアクティビティ、常に若者に訴求し続ける先取的気風、近年では、世界的アーティストの作品が集積するアートの先端となる施設が立地するなど、様々なカルチャーシーンが存在します。

御堂筋は、これら文化・芸術のショーケースとして、時代の先頭を行くミナミの「カルチャー」を世界へ発信することをめざします。



界隈で生まれ、涵養される文化が集積し、世界に向け発信する場＝御堂筋

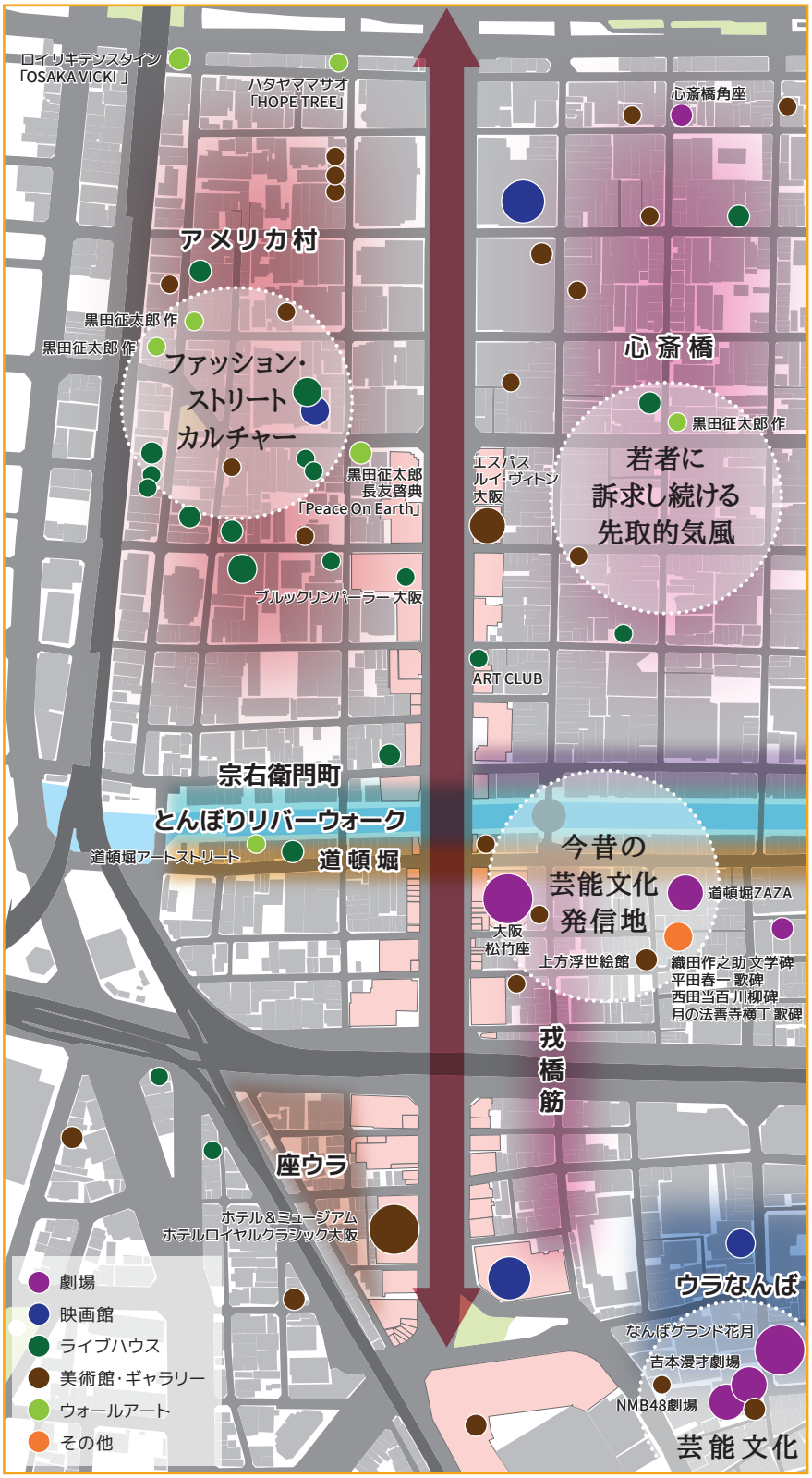
- ■芸術・芸能をはじめミナミの様々な文化が体験できる場としての御堂筋の活用
- ■会員企業の連携による新規コンテンツ形成
- ■若手クリエイターやアーティストによるチャレンジへの投資

ミナミ御堂筋ストリート・カルチャー最前線

御堂筋を歩くと東西の通りには
多様な界隈が顔を覗かせている

それら界隈では、
伝統的な芸術・芸能活動が営まれる
とともに、
時代やニーズに応じた
新しいカルチャーが産声をあげている

ミナミのカルチャーシーン



若者のカルチャーを常に先取りしてきた界隈

西日本一の繁華街
昼夜を問わず賑わいを見せる

道頓堀と宗右衛門町に挟まれた道頓堀川の沿川
船が行き交う水都大阪を代表するエリア

ファッションや美容、食から体験イベントまで
多様な魅力がつまった商店街

ニューヨーク　タイムズスクエア

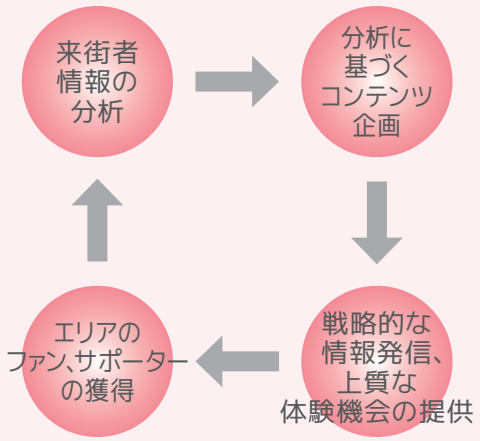
4 総合的 エリア・ブランディング

再編により、よりウォーカブルな空間へとアップデートが進む道路空間。レガシーともいえるアイコニックな沿道の建築物群。歴史と先取の気風の基、涵養される幅広い層に訴求する多様なカルチャー。ミナミというエリアが持つ都市魅力は、正に大阪を牽引するといえます。

この様々な要素からなる魅力を適切な方法で、適切なターゲットに届けることで、エリア価値を最大化することが求められます。

社会の情報化が進展するなか、御堂筋においてもデジタルトランスフォーメーションを推進し、人流や来街者属性の解析といった正確なエビデンスに基づく、戦略的な情報発信に取り組みます。

また、沿道だけでなく周辺地域や協賛企業との連携・協創により、地域魅力の顕在化や御堂筋のリソースを活かした新たなコンテンツ創出に取り組んでいくことで、総合的なエリア・ブランディングを展開します。



- ■ビッグデータを活用した来街者情報分析
- ■テナント会員や周辺商店街等と連携した情報発信の多角化
- ■デジタルサイネージなど幅広い案内・情報発信媒体の整備
- ■多様な主体と連携したイベントの実施

ミナミ御堂筋の情報戦略の到達点

大阪のメインストリート
御堂筋の南側
沿道の利用状況はいかに

社会実験等におけるスマート・ストリート化に向けた取組

ビッグデータを活用した来街者分析

デジタル案内板による情報発信

エリアや企業の PR の取組イメージ

道路空間をジャックしたPRのイメージ

これまでに実施した連携イベント

御堂筋イルミネーション

商店街の活性化イベント

- ストリートを軸としたエリアのデジタルトランスフォーメーション

これまで、ビッグデータを活用した来街者分析を展開
今後、これらの情報を恒常的に捉え、活用可能な環境整備が求められる

また、地域情報の発信ができるよう、デジタル案内板の整備促進が求められる

- 情報媒体としての道路空間

通行量の多い御堂筋では、その道路空間は重要な情報媒体として捉えることができる
地域活動や企業の事業活動のPRの場として積極的に活用することで、エリア価値の向上が期待される

- イベントをきっかけとした様々な主体との連携

御堂筋イルミネーションや、周辺商店街の活性化イベントなど、様々な主体によるイベントとの連携を進めてきた
今後は、道路空間の活用等により、連携の機会を深め、エリア全体での回遊創出を図る

Reference

ミナミ御堂筋の会　企画検討部会

ミナミ御堂筋の会では、会員のうち、若手ビジネスパーソンからなる「企画検討部会」を組織。

事務局や専門家とも連携し、活動戦略立案、事業ローンチといった会の具体的な取組検討を担っている。

モデル・プロジェクト

1 道路活用の常設化

オーナーや沿道店舗等との連携により、道路空間を活用したカフェ等の滞在スペースや、ポップアップ店舗、モビリティ・ハブ等の常設設置を進めます。

2 ストリート・ハック イベント

御堂筋沿道の印象的な建築物や銀杏並木を背景に、ファッションショーなどのイベントを開催。定期のフェス化などによりビッグコンテンツへの成長をめざします。

3 ミナミ・アートストリート

若手アーティストを募集し、協賛型のストリートアート作品を設置し、フォトスポットの創出を図ります。ゆくゆくは、アーティストの登竜門となる企画への成長をめざします。

ビジョン達成に向けたロードマップ

2022

- 道路活用公募スキームの検証
- 道路活用の常設化をめざした試行的取組
- デジタル案内板の設置検証
- テナントとの連携方策検討
- ビッグデータを用いた回遊性評価方法の確立

2023-2024

- 道路活用の常設化
- デジタル案内板の運用
- 沿道ビル活用の試行的取組
- ハックイベントの試行的実施
- アートストリートの企画検討
- モビリティ・ハブ実装に向けた検証

2025（大阪・関西万博2025）

- 新たな道路空間再編区間における道路活用の拡大
- 沿道ビル活用の更なる展開、及び都市計画・景観ルールに関する提言検討
- ハックイベントの年度行事化
- アートストリートの実施
- モビリティ・ハブの実装

ミナミ御堂筋の会とは

2014年度、沿道の地権者が集まり情報を得て、関係機関等に対し、意見等を表明していくことを目的に任意組織として“ミナミ御堂筋の会”が発足しました。

以降、事業規模の拡大に伴う社会的責任の高まりや、大阪市が指定する「道路協力団体」への指定といった公的な位置づけを獲得した経緯を踏まえ、2021年7月に法人格を取得し、“一般社団法人 ミナミ御堂筋の会”として改組いたしました。

会の目的（ミッション・ステートメント）

国内のみならず海外からも注目される“世界の御堂筋”をめざし、
まちの資産価値向上を図るべく、不動産オーナーが連携して、
下記の3つの観点からまちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける

ミナミ御堂筋の3つの“E”

E NVIRONMENT
高質な
メインストリートの
空間・環境づくり

E CONOMY
経済・投資活動で
まちが潤う
しかけづくり

E MPOWERMENT
まちの発展を導く
マネジメント体制・
しかけづくり

組織概要

団体名
一般社団法人 ミナミ御堂筋の会

設　立
2021年7月
（任意団体の設立は2015年7月）

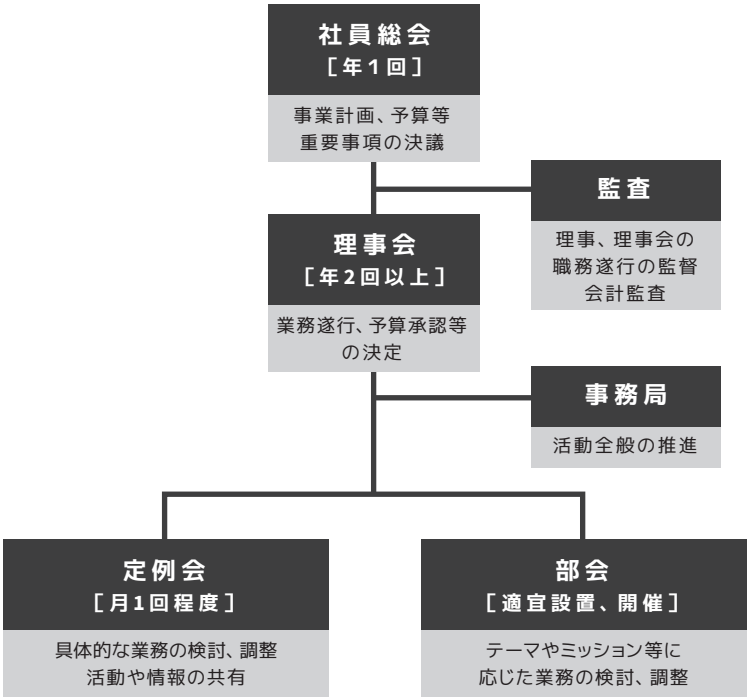
代　表
代表理事　高橋　勝彦

事務局
株式会社 地域計画建築研究所
（アルパック）

事務所所在地
大阪市中央区西心斎橋２丁目5番9号

お問い合わせ先
〒541-0042
大阪市中央区今橋3-1-7日本生命今橋ビル
Tel　06-6205-3600
Fax　06-6205-3601
Mail　minami-midosuji@arpak.co.jp
URL　https://minami-midosuji.net/
Facebook
https://www.facebook.com/minami.midosuji

組織・ガバナンス体制



主な活動実績

毎月最終週の月曜日に定例会を開催している他、下記の活動を実施しています。

御堂筋沿道協議会への参画、取組支援

御堂筋で「車重視の道路空間」から「人重視の道路空間」への空間再編が進められる中、当会は、地元協議会に参画するとともに事務局を担い、市と地元との円滑な協議を支援しています。

行政等への提言、具体化に向けた連携

地権者団体としての強みをいかし、ミナミ御堂筋の望ましい方向性や、取り組むべき施策を行政等に提言し、具体化に向けて連携を図ります。OsakaMetroなんば駅14号出入口のリニューアルにおいては、地元協議会と連携し、実現に向けて強力に働きかけました。

社会実験「御堂筋チャレンジ」

官民連携で御堂筋の未来をつくる社会実験「御堂筋チャレンジ」は、2017年の実施から、御堂筋の道路空間再編の進捗や、新たに整備された制度とともに、アップデートしながら、2020年、2021年にも開催してきました。

官民連携まちづくりへの参画

大阪エリアマネジメント活性化会議、御堂筋パークストリート推進会議、御堂筋協議会など、官民連携のまちづくりに参画しています。

地域の清掃活動

ミナミべっぴんプロジェクト　ミナミ一斉大そうじ、御堂筋クリーンアップ作戦等、地域の清掃活動に積極的に参加しています。

サイクルサポーター活動

大阪市の放置自転車等啓発指導員（愛称:サイクルサポーター）に登録し、放置自転車の整理･啓発活動を行うことで道路空間の適正化に努めています。

回遊性創出研究会

歩行者等通行量･人流データ等を活用して来街者を把握し、エリアの回遊性創出をめざして「回遊性創出研究会」を設置し、商店会･大学･企業等と連携して意見交換や研究を実施しています。

プロモーションイベント等への協賛

他の道路協力団体と連携して、御堂筋沿道の道路照明灯にバナーフラッグ掲出を募集し、スポンサードしていただいた資金を、御堂筋の維持管理活動に還元しています。

御堂筋イルミネーションの参加･協力

ミナミ御堂筋のバリューアップに向け、地権者団体として、会員が所有不動産のライトアップに協力しています。

雇用創出支援 モデル事業

生活困窮者への就労･生活支援に取組む認定NPO法人Homedoorと連携協定を締結し、自転車啓発活動から雇用に結びつけるモデルとなる事業の展開に取組んでいます。

御堂筋アーバンデザインスクール

ミナミ御堂筋エリアにおける学生の研究活動を支援し、学生による沿道のまちづくり提案を通じ、会員が沿道の将来を考える機会を提供しています。

講演会やセミナーの開催

世界のメインストリート、不動産動向等に関して、著名な建築家や世界的な不動産企業等による講演会を開催しています。
（上写真は建築家･隈研吾氏をお招きした講演会）

一般社団法人 ミナミ御堂筋の会　事務局

株式会社 地域計画建築研究所（アルパック）大阪事務所 内
〒541-0042　大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F
Tel：06-6205-3600　Fax：06-6205-3601
E-mail：minami-midosuji@arpak.co.jp

公式サイト
ミナミ御堂筋の会 検索
https://minami-midosuji.net

Facebook
ミナミ御堂筋の会 検索
https://www.facebook.com/minami.midosuji/